

# 平成25年度事業報告

## 1 展 示

### (1) テーマ展「大塚コレクション 古地図の世界」

会 期 平成25年2月2日(土)～4月24日(水)  
開館日数 69日(平成25年度分:20日)  
入館者数 5,264人(平成25年度分:1,210人)  
内 容 本館に寄贈された大塚コレクションのうち、江戸時代に出版された古地図、特に、京都の市街全体を描写しながらも携帯できる大きさの小図と中図を中心に展示しました。

### (2) テーマ展「京都を描いた書物 ー江戸時代の「京都本」ー」

会 期 平成25年4月27日(土)～7月24日(水)  
開館日数 73日  
入館者数 4,768人  
内 容 江戸時代の出版の中心地であった京都、その京都の名所や年中行事だけでなく、歴史や地理なども詳しく研究した「京都本」を数多く紹介しました。

### (3) 特別展 重要文化財岩倉具視関係資料特別公開「岩倉具視の幕末維新」

会 期 前期 平成25年7月27日(土)～9月4日(水)  
後期 平成25年9月7日(土)～10月16日(水)  
開館日数 68日  
入館者数 9,093人  
内 容 平成25年度、(財)岩倉公旧蹟保存会の解散に伴い、所蔵の重要文化財岩倉具視関係資料が京都市に寄贈されました。これを記念して、文書、絵画、写真、装束から生活道具に至るまで、岩倉具視関係資料の主なものを一挙公開しました。

### (4) テーマ展「新・京のかたち5 洛南の光景ー伏見・淀と宇治川ー」

会 期 平成25年10月19日(土)～平成26年1月29日(水)  
開館日数 79日  
入館者数 6,368人  
内 容 宇治川、瀬戸内海を通じて全国とつながっていた伏見と淀、その2つの都市の歴史について、屏風・絵図・古文書などの諸史料で解説しました。

### (5) テーマ展「愛宕信仰と山麓の村」

会 期 平成26年2月1日(土)～4月23日(水)  
開館日数 68日(2月:23日)  
入館者数 1,902人(2月末時点)  
内 容 愛宕信仰とその核となる愛宕神社を支えた山麓の村落(水尾・檜原・越畑)に焦点を当て、絵図や古文書などの諸史料を展示しています。

## 2 講座

### (1) 歴史講座「江戸時代の「京都本」」

期 日 平成 25 年 5 月 15 日 (水) 18:30-20:00  
会 場 歴史資料館 1 階展示室  
講 師 伊東 宗裕  
受講者数 42 名 (応募者 56 名)

### (2) 夏休み親子歴史教室「大文字五山送り火の歴史」

期 日 平成 25 年 8 月 16 日 (金) 10:00-12:00  
会 場 同志社新島会館  
講 師 松中 博  
対 象 小学校 4・5・6 年生児童とその保護者  
受講者数 28 組 60 名 (応募者 33 組 72 名)

### (3) 特別展開催記念講演会「岩倉具視と岩倉家の人々」

期 日 平成 25 年 8 月 24 日 (土) 13:30-15:00  
会 場 同志社新島会館  
講 師 岩倉具忠氏 (岩倉家第 16 代当主・京都大学名誉教授)  
受講者数 182 名 (応募者 201 名)

### (3) 歴史講座「岩倉具視とその時代」

期 日 平成 25 年 9 月 18 日 (水) ・ 10 月 5 日 (土) 13:30-15:00  
会 場 同志社新島会館  
講 師 宇野日出生  
受講者数 9/18: 70 名 (応募 240 名, 当選 80 名)  
10/5: 46 名 (応募 144 名, 当選 80 名)

### (4) 講座「古文書を読もう！」(2 コース・5 回連続)

期 日 A コース 10 月 22 日～11 月 19 日の毎週火曜日 13:30 - 16:30  
B コース 10 月 24 日～11 月 21 日の毎週木曜日 13:30 - 16:30  
会 場 同志社新島会館  
講 師 A コース (古文書を学ぶ) 伊東 宗裕  
B コース (くずし字を楽しむ) 松中 博  
受講者数 A コース 45 名 (応募 122 名, 当選 48 名)  
B コース 45 名 (応募 102 名, 当選 48 名)

### (5) 歴史講座「伏見・淀川でつなぐ都市」

期 日 平成 25 年 10 月 27 日 (日) 13:30-15:00  
会 場 伏見区総合庁舎  
講 師 伊東 宗裕  
受講者数 168 名 (応募者 182 名)

### (6) 京都アスニー・アスニー山科協力講座

#### ア 「岩倉具視の幕末維新」

期 日 平成 25 年 8 月 10 日 (土)  
会 場 京都アスニー (アスニー京都学講座)  
講 師 宇野日出生

イ 「天智天皇山科陵の時代 -大津京と壬申の乱-」  
期 日 平成 25 年 11 月 13 日 (水)  
会 場 アスニー山科 (学びのフォーラム山科)  
講 師 井上館長

ウ 「愛宕信仰と山麓の村々」  
期 日 平成 26 年 2 月 15 日 (土)  
会 場 京都アスニー (アスニー京都学講座)  
講 師 宇野日出生

### 3 「叢書 京都の史料」の刊行

歴史資料館収集古文書の編集・刊行を継続しています。平成 25 年度は、第 13 回配本「京郊農村の近代 葛野郡岡区事務日誌」を刊行します。

### 4 古文書の調査と収集

京都市内に所在する文書を調査・収集しています。

### 5 資料の収集・整理・研究

京都の歴史に関する研究センター的役割を担うため、文献を中心とした資料の積極的な収集・整理・研究を行っています。

### 6 資料の供用・普及

資料(古文書を含む)の閲覧・複写など、当館収集資料の公開・利用を進めています。また日常的に歴史に関する相談にも対応しています。

### 7 博物館実習生の受入

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を実施しました。

期 間 平成 25 年 8 月 27 日 (火) ~ 30 日 (金) の 4 日間  
受入大学 大谷 1, 京都女子 1, 京都橘 4, 同志社 1, 立命 3 計 10 名  
内 容 古文書解説, 史料整理・補修, 図書分類等

### 8 京都市政史の編さん

『京都市政史 第 3 巻』第 5 回配本(最終巻), 「財政のあゆみ 市政史年表」の原稿作成を行っています。また「京都市政史編さん通信」(計 3 回)を発行しました。

### 9 歴史的公文書の指定及び保存について

引き続き総合企画局情報化推進室(文書担当)と協議を行いながら、市長部局のみならず交通局や上下水道局等の他任命権者における歴史的公文書の指定に関する手続を整備しました。

## 10 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

平成 17 年 4 月にインターネット上で発信を開始した情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」には多くの市民の方々からアクセスがあり、引き続き、項目追加・内容修正を中心に運営しています。

## 11 史料管理システム「文書一覧」の運営

平成 22 年 9 月 1 日からホームページ上で公開した写真帳の「文書一覧」について、加筆訂正を主とした内容充実に努めています。特に、文書解説については掲載済みの北・上京・左京・中京・東山・山科の 6 区以外に、下京・南・右京・西京の 4 区を追加しました。

## 12 関係機関への協力

### (1) 報道機関・出版社等への情報提供

新聞社・テレビ局・出版社等へ歴史情報の提供を行いました。歴史知識の普及という趣旨に基づいて積極的かつ誠実な対応に努めています。

### (2) 関係機関への講師派遣等

大学等研究機関からの非常勤講師委嘱，行政団体からの委員委嘱，関係機関が開催する講座の講師派遣依頼等については，職務に支障のない範囲において出来る限りの協力を行いました。京都アスニーが開催する「京都学講座」及び，アスニー山科が開催する「学びのフォーラム山科」についても協力して館職員を講師として派遣しました。

## 13 対岳文庫（国登録有形文化財）展示室の展示協力

平成 25 年 5 月から常設展示となった対岳文庫において、岩倉具視の関係資料の展示に協力しています。